

第3回議会改革調査特別委員会（平成27年12月9日） 《各会派の意見》

| | ア「本会議・委員会の公開性向上に関すること」 | | | ウ「市民意見の反映に関すること」 |
|--------------|--|--|--|---|
| | ②委員会記録への発言者名等の記載について | ③常任委員会のインターネット中継について | ④発言残時間の表示について | ②請願、陳情の取り扱いについて |
| 自民党 | <ul style="list-style-type: none"> ・発言時間の制限を設けるべき ・委員会は無制限にやっているのか、これまでは議員皆さんが配慮したから支障が出なかつただけ、時間制限を検討すべき | <ul style="list-style-type: none"> ・費用対効果を考えるべき ・市民がどれ程望んでいるのか、検証すべき | <ul style="list-style-type: none"> ・議会の円滑な運用につながるので導入には前向き、傍聴席に見えるようにするかなど会派に持ち帰って検討、ネット上にも残時間が表示されるか他都市の状況を調べて | <ul style="list-style-type: none"> ・新たなルールを検討するよりも、今ある議会規則の中で活用されていない制度があるかなどを検討する必要があるのではないかと |
| 公明党 | <ul style="list-style-type: none"> ・一定のルールを ・発言時間（回数）の問題 ・資料をもとに会派で検討 | <ul style="list-style-type: none"> ・導入すべきと思うが、予算のこともある ・持ち帰って検討 | <ul style="list-style-type: none"> ・導入してほしい ・残時間が分かるのは有り難い ・会派に持ち帰って検討 | <ul style="list-style-type: none"> ・他都市の状況を整理してほしい。その事例を踏まえて審議したい |
| 福岡市民クラブ | <ul style="list-style-type: none"> ・発言者名を載せることを前提に、一定のルールを ・無制限に発言を認めるのは問題 ・ルールを設けないと、ある議員が永遠に質問をしてしまう。長く質問をすれば中身のある回答が得られるというものではない、持ち時間はあってよい | <ul style="list-style-type: none"> ・経費がかかる ・特別委員会のアクセス数は？（事務局答弁参照） ・アクセス向上に向けた取り組みが必要 ・一人の議員の発言がずっと放映されるというのは問題、ルールが必要 | <ul style="list-style-type: none"> ・便利だが、費用の問題がある ・安くて便利になればよい ・委員会室に残時間が表示されている政令市は6市あるが、どういう状況か？（事務局答弁参照） | <ul style="list-style-type: none"> ・発言なし |
| みらい福岡 | <ul style="list-style-type: none"> ・発言者名を載せることは賛成 ・一定のルールが必要 | <ul style="list-style-type: none"> ・導入すべきだが、経費等がかかる ・持ち帰って検討 | <ul style="list-style-type: none"> ・実用的なもので導入 | <ul style="list-style-type: none"> ・発言なし |
| 日本共産党 | <ul style="list-style-type: none"> ・議会の公開性から発言者名は、当然公開すべき ・持ち時間制などの課題とは切り離して考えるべき ・無所属議員の発言も保障する観点から時間制限なしでやってきた。一人一人の議員に平等に発言の機会が与えられるのだからその回数や時間はそれぞれの議員の責任で行っている。時間制限を設けないために発言の機会が阻害されたことはないのではないかと | <ul style="list-style-type: none"> ・議会の公開ということであれば、ネット放映してほしいが、費用がどうなのか ・市民の人たちの意見を聞く時間もほしい ・会派で議論して検討する | <ul style="list-style-type: none"> ・時間の管理は各議員、会派の責任でやるべき、これまでも大きな支障はなかった ・現状で問題はないが絶対につけてはいけないというものでもない。導入するとしても経費を抑え、傍聴者にも見えるように ・導入された場合、残時間がゼロでもマイクはオフにせず、運用は議運で協議 | <ul style="list-style-type: none"> ・発言なし |
| 福岡維新の会 | <ul style="list-style-type: none"> ・時間設定は議員の発言の機会の制限になりかねない ・時間設定は慎重に議論、一定のルールのもとで記載 | <ul style="list-style-type: none"> ・賛成 ・費用面など、資料を持ち帰って検討 | <ul style="list-style-type: none"> ・必要、議事進行の透明性から導入すべき ・安くて良いもの、方策を考える | <ul style="list-style-type: none"> ・発言なし |
| 社民・市政クラブ | <ul style="list-style-type: none"> ・発言者名は載せるべき、発言の機会は尊重すべき ・発言時間については、（持ち時間制を導入している）3市の取り扱いを見て検討 | <ul style="list-style-type: none"> ・基本的に賛成 ・費用面を検討 ・事務体制の問題 | <ul style="list-style-type: none"> ・議会のスムーズな運営に役立つ ・ないより良いと思う ・少数会派には、あれば助かる | <ul style="list-style-type: none"> ・発言なし |
| 緑と市民ネットワークの会 | <ul style="list-style-type: none"> ・発言者名表記は当然 ・持ち時間制について、市民の暮らしを一番に考えると時間にとらわれてはいけない ・今まで時間制限がないことで問題があったのか | <ul style="list-style-type: none"> ・傍聴したくてもできない人もいる ・ライブで市民の目に届くのが大事 ・持ち帰って検討 | <ul style="list-style-type: none"> ・市民にとっては必要かどうか疑問 ・絶対に導入すべきでないとは思われないが、できるだけ安く ・持ち帰って検討 | <ul style="list-style-type: none"> ・発言なし |

※ア⑤「常任委員会の名称について」は、議会運営理事会の協議を待って議論。

※ウ②「請願・陳情の取り扱いについて」は、具体的にどのような項目を話合うかを議論。

※《事務局答弁》常任委員会で発言の持ち時間制を導入している政令市は、埼玉市、千葉市、堺市の3市。

※《事務局答弁》福岡市議会におけるインターネットのアクセス数について。昨年の決算特別委員会では、7507（ライブ6899）。

※《事務局答弁》委員会室で残時間表示をしている政令市は、仙台市、埼玉市、横浜市、堺市、神戸市、熊本市。いずれも予算決算委員会で、常任委員会ではない。